

JCB、「Cashmap」で税金・公共料金等支払い業務 DX ソリューション「PayB for Business」の提供を開始

～納付書をスマートフォンで読み取り、いつでもどこでも支払い可能に～

株式会社ジェーシービー（本社：東京都港区、代表取締役会長 兼 執行役員社長：二重 孝好、以下：JCB）は、2026年3月31日より中小企業・個人事業主向け資金管理・キャッシュフロー改善ポータル「Cashmap」で「PayB for Business」の提供を開始いたしました。

JCB

JCB、「Cashmap」で PayB を提供開始

税金・公共料金の納付書を
スマートフォンでカンタン読み取り
いつでもどこでも支払い可能に

新機能



「Cashmap」の機能追加について

「Cashmap」は、JCB が中小企業・個人事業主向けに提供する資金管理・キャッシュフロー改善ポータルです。^{※1} 複数の金融機関口座・クレジットカード情報を一元管理し、入出金予定管理からキャッシュフロー改善までをワンストップで行えるサービスで、JCB の法人カード会員様へ提供しています。2025年3月の提供開始後、2025年10月には口座情報をもとに自動で算出・提示される融資貸付条件を参考に申し込みができる、オンラインレンディング機能も追加されました。^{※2}

そしてこのたび、業務 DX サービスのラインアップとして、税金・公共料金の支払いができる「PayB for Business」機能を追加いたしました。この機能では、納付書・払込票等に印字された QR コード^{※3}・バーコードを読み取り「Cashmap」に取り込むことで、そのまま支払い手続きを行うことができます。そのため、銀行窓口等に持参することなく、ご都合の良いタイミングで処理ができ、複数枚まとめての支払いにも対応しております。また、お支払いはインターネットバンキングを利用するため、全国約 1,000 の金融機関の口座からお支払いが可能です。

支払い状況を含むデータは「Cashmap」上で管理できることはもちろん、「Cashmap」のキャッシュフロー管理にも反映されるため一元管理がさらに便利になります。

なお、本機能はビリングシステム株式会社(代表取締役:石塚 昭浩)が提供する「PayB for Business」を活用しており※4、自社サービスの機能として組み込む企業は JCB が初となります。



※1 プレスリリース: https://www.global.jcb/ja/press/2025/202503041300_card.pdf

※2 プレスリリース: https://www.global.jcb/ja/press/2025/202510071200_card.pdf

※3 QR コードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

※4 プレスリリース: https://www.global.jcb/ja/press/2025/202510081000_card.pdf

今後の展開

Cashmap は、今後も段階的に機能を拡張する計画であり、2026 年秋頃には請求書ファクタリング※5 や請求書発行等のサービスを提供開始予定です。これにより、請求書カード払い・レンディング・ファクタリングとキャッシュフロー改善の選択肢が増えることで、より状況に合わせた資金管理が可能となります。

JCB は、今後もこれらのサービス提供を通じて、中小企業・個人事業主の課題により一層向き合い、成長に貢献してまいります。

※5 「入金待ちの請求書(売掛金)」の売却によって、早期に運転資金を調達するサービスです。借入ではないため、担保や保証人を必要としません。

JCB は、「おもてなしの心」「きめ細かな心づかい」でお客様一人ひとりのご期待に応えていきます。そして「便利だ」「頼れる」「持っていてよかった」と思ってもらえる、お客様にとっての世界にひとつをめざし続けます。